

年度/Academic Year	2024
授業科目名/Course Title (Japanese)	DXを加速し、チェンジを生み出すリーダーシップ
教員名/Instructor (Japanese)	広石拓司
講義概要/Course description	
<p>DX推進者にはデジタルを使って組織を変えていくことが求められ、「定まった目標の達成するマネジメント」だけでなく、「新しい状況に挑むよう動機付け、対話し、試行錯誤から学んでいくチェンジ・リーダーであること」も求められる。</p> <p>そこで、本講義では、これらの力をチームや組織に広げるために、感情的知性やファシリテーション、メンタリングなどのソフトスキルを使いこなし、チェンジを主導するリーダーシップについて考える。</p>	
達成目標/Course objectives	
<p>DXを推進する未来志向のプロジェクト・チームに求められること、そのチームを導くリーダーシップのあり方を習得する。</p> <p>多職種が連携するチームの運営、社外・異分野との協働・共創の進め方を理解し、実践する技法を身につける。</p>	
授業計画/Lecture plan	
講義回	
1	【イントロダクション】 DX推進の担い手、チーム運営、協働・共創、リーダーシップに求められることを考える。
2	【DXを進める視点と視座】 デジタルを活かしてビジネス、組織、地域・社会に変化を起こすとはどういうことか考える。
3	【アジャイルに向き合う】 アジャイル開発を通して顧客と共に開発を効果的に進めるために人、チーム、組織に何が求められるのか考える。
4	【ファシリテーション】 顧客、メンバーらと共に正解のない問いに向き合い、より良い答を探究するための問いかけ、場づくりの技法を学ぶ。
5	【ふりかえりの進め方】 進捗確認、反省会に止まらず、自分を見直し、チーム力を高めるための「ふりかえり」の進め方を学ぶ。
6	【DX推進チーム】 DXを推進するチームに求められることは何か、受講生自身のチームを検証しながら、どのような変化が大切なのか考える。
7	【トランスフォーメーション・リーダーシップ（1）】 組織のトランスフォームを促すリーダーシップのあり方を学ぶ。
8	【トランスフォーメーション・リーダーシップ（2）】 組織のトランスフォームを促すリーダーシップのあり方を学ぶ。

9	【メンタリング】対話を通して気づきと自発的な変化を起こすメンタリングの進め方を学ぶ。
10	【DXを進める組織のデザイン】変化に前向きに動き出せるチーム、組織の姿とその実現への道筋を描く。
授業方法/Method of instruction	
対面で行う。授業内でワークショップも行う。	
成績評価方法/Evaluation	
授業への貢献(50%)およびレポート(50%)を評価する。	
参考書/Reference books	
『SDGs人材からソーシャルプロジェクトの担い手へ持続可能な世界に向けて好循環を生み出す人のあり方・学び方・働き方』佐藤正久・広石拓司、みくに出版（2020）。	